

第4学年 「総合的な学習の時間」学習指導案

2021年11月17日(水)5校時

児童数 5名

指導者 緒形 久美

1. 単元名 住みよい環境や安心安全を保つ香々地について調べよう。
2. 単元目標 防災の取り組みについて、フィールドワークで災害の危険箇所を調べたり防災専門家から川の作りや地形の話の話を聞いたりすることを通して、防災に対する備えを知ると共に安心安全な香々地を保っていかこうとする気持ちをもつことができる。

3. 単元の評価規準

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的な学習に取り組む態度
① 香々地を流れる川が私たちの生活にかかわっていることを理解している。 ② 川の水が雨や台風災害で危険をもたらしてしまうことに気づくことができる。	① 川と自分たちの生活との関りについて課題をみつけ解決の見通しをもっている。 ② 災害が起きたとき、どのような備えが必要なのかどんな行動をしなければならないのか、考えることができる。 ③ 課題の解決に必要な情報を収集し、分類・整理し、香々地が安全安心であることを、相手や目的に応じて分かりやすく表現している。	① 地域の環境のよさに気付き、生活に欠かせない水や川について課題解決に向けて進んで取り組もうとしている。 ② 災害が起きたときにどんな備えが必要なのか、情報を整理し、進んで解決しようとしている。 ③ 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。

4. 指導の立場

(1) 児童の実態

4年生5名は昨年度までは総合的な学習の時間にまち探検をし、香々地まち市内にある消防署や市役所の支所や海の家である香々地青少年の家など、様々なまちを代表する施設があることを学習してきた。

4年生になって、総合的な学習で安心安全な香々地まちを保つにはどうしたらよいのかという課題をもち、社会科で水やゴミの分別を学習した。川について調べることに焦点をしばり川から考えられることを深めることにした。そこで、私たちのまちを流れる川の水はきれいなのか確かめるために竹田川に行き、川の様子を調べた。そして川が単元2の防災学習につながるのか分かったことや感じたこと疑問に思ったことなど、もっと調べたいことを資料やノートにまとめた。

防災面からの学習については、社会科で自然災害のことや防災の備え、自主防災訓練などの知識はあるが、

まだ防災に対して自分たちがしなければならないことや自分たちにできることは何か、はっきりとしていない。そのためフィールドワーク体験でわかったことや防災専門家から自分たちが疑問に思うこと知りたいことを聞き、防災に対する意識をもととしていくところである。

(2) 単元について

本単元は、住みよい環境・安心安全な香々地にするために、まちにどんな工夫や準備がされているのかを、実際にフィールドワークをすることや専門家の話を聞くことで、必要な情報収集を楽しみながらすることができ、特に水に対する防災・減災意識が高まるのではないかと期待される。また、社会科「自然災害から暮らしを守る」でさまざまな災害と暮らしについて学習したことや理科「雨水の行方」の学習にしたことにつなげて、防災について考えることができる。香々地まちは過去に海辺に近い家が水害を受けたことはあるが、子どもたちの記憶の中では大きな災害はない。しかし、災害が起きた場合、自分たちはどんなことができるのかを身近な課題として捉えることができるのではないかと考える。

(3) 指導について

小単元1では社会科とつなげて、特に自分たちの生活と川との関わりについて調べたことを資料にまとめさせ、香々地の自然や水の美しさに気づかせたいため、川の上流や下流の生き物を調べさせ、自分たちの出した生活排水が下流の環境に影響しているのではないかと疑問をもたせる。

また、県土木建築部公園、生活排水課の「生活排水教室」を受講することによって、自分たちの生活がその生き物と関わりを大きく持っていることを理解させ、川を含めた安心安全な香々地を守っていくことの大切さを実感させたいと考える。

小単元2では香々地まちなりのフィールドワークをすることで、どんな危険箇所がまちなりの中にあるのか気づかせたい。理科の「雨水の行方」の学習と連動させ、雨が降ると川の水の流れによって川の水が氾濫してしまい災害をもたらしてしまうのではないかと課題をもたせ、社会科の災害学習と並行させて防災意識がもてるようにつなげていきたい。そして、もしも災害が起きてしまったときにはどうすればよいのか自分にできることは何かを考えさせる。

小単元3では、安心安全な香々地を保っていくにはどうすればよいのか実際に避難所となっている施設に見学に行き、避難後に必要なものが備えられていることを知り、防災学習を深め、まとめさせたい。

5. 指導と評価の計画(60 時間)

小単元めあて	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
小単元1 香々地の自然や川について調べよう。(15)	昨年度の町探検で学習したことや自然豊かな香々地夷谷温泉、海、川、などの環境に恵まれていることを確認し、単元の課題を知る。	①			ノート、発言
	社会科で学習する水問題について、香々地の竹田川を調べる計画を立てる。	①			ノート
	竹田川の水の様子を調べ、防災学習とどうつながるのか疑問点を出し合う。		①		ノート、発言
	インターネットで川の生き物と竹田川の生き物との違いを調べ、分かったことや感じ				①

	たことをまとめる。				
小単元2 安心安全な香々地を保つための取り組みについて考えよう。(30)	これから学習する防災学習の課題をもつ。	①			ノート, 発言
	香々地町の危険箇所の予想を立てる。		②		ノート, 発言
	日常の生活と災害について分かったことを話し合う。【防災学習ブックを使用 P.1】			②	
	災害でなくなった方の物語, 災害での助け合いの物語の感想を伝え合う。【防災学習ブック P.2,3,4】			②	
	学校にある危険箇所(校舎内)を見つけ, なぜ危ないかを話し合う。【防災学習ブック P.5】			②	
	防災の備えに対してどんな意識を持っているかを各家庭にアンケートをとりまとめる。		③	③	ノート, 発言
	・防災専門家の話を聞き, 自分たちに必要な防災の備えについてまとめる。 ・フィールドワークで香々地地区の危険箇所を知る。	②		②	ノート, 発言
	災害が起きたことを想定し, 自分たちができることは何かを考えて, 意見の交流をする。(本時)		②		ワークシート 発言
自分たちができる防災対策, 地域の人々と共に住みやすい香々地を保つために必要なことをまとめおうちの方へ伝える。		③		ノート, 発言	
小単元3 安心安全なまちにする取り組みや施設のことをまとめよう。(15)	香々地青少年の家(市指定避難所)では防災・減災にどんな取り組みをしているのか予想を立てる。			③	ノート, 発言
	避難指定所を見学して話を聞き, 避難後の生活が安心してできることを話し合う。		③		
	自分たちが, 香々地の環境の良さを保つためにしなければならないことは何かについて話し合い, まとめを全校に伝える。		③		ノート, 発言
	学習の振り返りをする。			③	ノート, 発言